

長崎県海岸清掃マニュアル



令和7年3月

長崎県



表紙の写真について

西海国立公園内の

九十九島

はじめに

長崎県は1,479の島¹（有人島72、無人島1,407）を有しており、北海道に次ぐ全国第2位の海岸線総延長（約4,200km）を誇ります。多くの入江や岬などから成る海岸は美しい自然景観を形成し、県民の生活と生産活動を支え、自然の恵みをもたらすと共に、多種多様な生物が生息・生育する貴重な場となっています。

一方、黒潮から派生する対馬暖流による海流や冬季の季節風、台風などの影響により、長崎県内の海岸には中国、韓国などの近隣諸国や日本国内から発生したごみが毎年多く漂着しています。これらの海岸に漂着するごみは景観や自然環境、水産資源、観光などに悪影響を及ぼし、深刻な問題となっています。

このため、平成14年10月に長崎県では県・市町村・関係団体で構成する「長崎県漂流・漂着ごみ問題対策協議会」を設置し、平成16年3月に「長崎県漂流・漂着ごみ問題対策指針」、平成18年3月に「長崎県漂流・漂着ごみ問題解決のための行動計画」を策定して取組を進めてきました。その後、平成21年7月に「海岸漂着物処理推進法」が制定され、平成22年10月には「長崎県海岸漂着物対策推進計画」を策定し、市町等と連携して海岸漂着物対策を推進してきました。

しかし、海岸漂着物処理推進法施行後十数年が経過した現在においても、国内外から多くの海岸漂着物等が存在し、船舶の航行の障害や漁業操業の支障となっており、海洋環境に深刻な影響を及ぼしています。特に近年では、海洋に流出する廃プラスチック類やマイクロプラスチックが生態系に与える影響等について国際的な関心が高まり、地球規模の課題となっています。平成27年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、2025年までに海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し大幅に削減することが持続可能な開発目標（SDGs）のターゲットの一つとして掲げられ、G7やG20でも海洋ごみが議題とされ、国際連携・協力の必要性が認識されています。このような状況を受け、平成30年6月に海岸漂着物処理推進法が改正され、令和元年5月に「海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」が変更され、令和3年3月に「長崎県海岸漂着物対策推進計画」の改定を行いました。

海岸に漂着するごみは、取り除いても繰り返し流れ着くため、海岸管理者や地元行政の取組だけでは対応が追いつかないこともあります。そのため、地元市町による定期的な清掃活動や廃棄物管理の強化、漂着ごみの発生源の調査・分析などの対策に加え、ボランティアによる地域住民の協力が大きな力になっています。これらのことから、地域住民やボランティア団体が安全かつ適切に海岸清掃活動を実施できるよう支援し、海岸管理者や地元市町が海岸漂着物対策を適切に実施できるよう「長崎県海岸清掃マニュアル」を平成27年2月に取りまとめ、令和7年3月に改訂版を作成しました。

¹令和6年2月「長崎県の離島（離島振興対策実施地域）」より、「島」は周囲長0.1kmの海岸線で囲われた陸地。

目 次

第1章 「漂着ごみ」って何？ ～海岸漂着ごみ問題と長崎県内の海岸の状況～	1
1. 漂着ごみについて調べてみよう	2
1.1 漂着ごみの問題点.....	2
1.2 漂着ごみ対策.....	3
1.3 漂着ごみに関する情報.....	3
2. 長崎県の海岸の特徴と漂着ごみの概要	5
2.1 長崎県の海岸の特徴.....	5
2.2 長崎県の漂着ごみの概要.....	6
第2章 ～海岸清掃活動に参加するには～ （県民活動編）	9
1. 参加の検討	11
1.1 海岸清掃活動団体などの把握.....	11
1.2 海岸清掃活動内容の把握.....	13
1.3 参加を申し込む.....	15
2. 参加の準備	16
2.1 服装と持ち物.....	16
2.2 移動手段の検討.....	19
3. 海岸清掃活動への参加	19
3.1 漂着ごみの分別.....	19
3.2 作業中の留意点.....	20
3.3 安全に楽しく漂着ごみを拾うには.....	22
4. 海岸清掃活動の結果を確認	25
第3章 ～海岸清掃活動を主催するには～ （県民活動編）	27
1. 海岸清掃活動の企画	29
1.1 実施時期の検討.....	29
1.2 実施場所の決定.....	29
2. 海岸清掃活動の準備	34
2.1 運営体制の整備.....	34
2.2 保険加入、緊急連絡先.....	34
2.3 主催者で準備するもの.....	34
2.4 参加者への連絡.....	35
3. 清掃活動参加者の募集	35
3.1 参加者の募集.....	35
4. 清掃活動当日の対応	38
5. 清掃活動後の整理	39
参考資料	41

第1章

「漂着ごみ」って何？

～海岸漂着ごみ問題と長崎県内の海岸の状況～



1. 漂着ごみについて調べてみよう

1.1 漂着ごみの問題点

2016年世界経済フォーラムでの報告では、海に流れるプラスチックは年間800万トンといわれています。特にプラスチックは自然分解されないため、ずっと海に残り続けます。重量ベースで2050年には、海には魚よりも多量のプラスチックが含まれるという予測もあります。

【直接的な影響】

- 誤飲、誤食による生物への影響
海に流れ出たレジ袋・ペットボトルのキャップなどの漂流ごみを、ウミガメ・イルカや海鳥などが餌と間違えて食べてしまうと、胃などの消化器にたまり続け、やがては餌を取れずに死んでしまう場合があります。
- 絡まりによる生物影響
漁網やロープなどは化学繊維素材でできており、アシカやウミガメなどがこれに絡まるとはずれにくく、体に食い込んだり、動けなくなったりして、やがては死に至る場合があります。
- 海岸植物への影響
海岸に堆積したごみによって、海辺の植物が覆われてしまい、生育が困難となる場合があります。この中には、絶滅に瀕している希少な植物が含まれていることもあります。
- 漁業被害
漁船のスクリューに網や流木がぶつかって壊れて動けなくなるほか、定置網などに絡まって操業に支障をきたすこともあります。
- 景観の悪化、観光被害
観光地に隣接する海岸では漂着ごみの堆積により景観が悪くなり、訪れた観光客が再度の訪問を取り止めたり、口コミでの風評も広がったりすることによって観光にも影響を与える可能性が考えられます。

【間接的な影響：海洋環境、人間への影響】

海岸や海中にあるプラスチック類は、紫外線によって劣化するほか、波浪の影響も受けて微細化してしまいます。この微細化したプラスチックは、マイクロプラスチックと呼ばれ、直径が5ミリメートル以下のプラスチック片や繊維のことを指します。マイクロプラスチックは、含有・吸着する化学物質が食物連鎖に取り込まれることによる生態系の影響など、海洋環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあり、また微細であるためその回収・処分が困難となることから、通常の用法に従った使用の後に河川その他の公共の水域又は海域に流出しないよう、製品の使用や廃プラスチック類の排出を抑制していく必要があります。

1.2 漂着ごみ対策

本来は、漂着ごみを発生させない対策（「発生抑制対策」といいます）が非常に重要で、身近なところではごみをポイ捨てしないことやプラスチック製品の使用を控えることなどのことから始める必要があります。特にプラスチック系の漂着ごみについては、上記のように破損して微細化した場合は海洋生物や海鳥などの生息・成長への危険性が増すなどの生物影響のほか、マイクロプラスチックを餌とした魚介類を人間が食べた場合はその健康や生活にも影響を与える可能性があるなど、被害が大きくなることが考えられます。そのため、海岸に漂着してしまったごみについては、可能な限り早く回収・処理することが望まれます。この海岸漂着ごみの回収・処理については、法律で海岸管理者が海岸をきれいにすることが定められていますが、繰り返し押し寄せる漂着ごみについて行政だけで対応するのは困難です。そのため、「海岸漂着物処理推進法」には、行政と民間との連携と協働の必要性や、市民は海岸清掃活動に協力することが謳われています。

【私たちにできることは？】

- 海や海岸、漂着ごみに関心を持つ
最近、海や海岸に行ったことがありますか？海岸がどんな状況になっているか、知っていますか？私たちにできることは、まず、海や漂着ごみに関心を持つことが第一歩です。
- ポイ捨てしない、生活から出るごみを少なくする
海岸だけでなく、街中や道路、山の中で不法投棄やポイ捨てされたごみは、街や山から川へ、川から海へ流れ出し、海岸漂着ごみになる可能性があります。特にプラスチック類の漂着ごみは、やがてマイクロプラスチックとなり、回収がほぼ不可能になります。研究によれば、海洋漂着ごみの約8割は陸由来とされています。そのため、まずはプラスチック製品の使用を減らすこと、ポイ捨てをしないこと、ごみ出しルールを守って家庭ごみを適切に処理することが重要です。また、これらのことを家族や友人、周囲の人にも伝え、一緒に考え、行動することが必要です。
- 海岸や街中、道路脇のごみ拾いに参加する
海岸ばかりではなく、身近な街や道路脇のごみを拾うことが漂着ごみを少なくすることにもつながります。本マニュアルで紹介する海岸清掃活動のほか、町内の清掃活動などにも積極的に参加しましょう。
- 海岸漂着ごみ問題の深刻さを一人でも多くの人に伝える
清掃活動などを通して体験したプラスチックの海岸汚染問題の深刻さを一人でも多くの人に伝えるよう努めましょう。それが、きれいで豊かな海洋を次世代や将来世代まで引き継いでいくための私たちの大切な役割です。

1.3 漂着ごみに関する情報

海岸清掃活動に参加する前に、漂着ごみ問題について調べ、考えてみましょう。

どのようなごみがあり、どのような問題があるのか、自分達でできることは何か、などをインターネットで調べ、実際に海岸で確認すると、興味がわきます。また、普段の生活でのごみ処理・ポイ捨て防止にもつながります。例えば、以下のようなサイトがあります。

【インターネットで漂着ごみのことが調べられるサイトの例】

- 一般社団法人 JEAN (<https://www.jean.jp/>)
- 漂着物学会 (<https://drift-japan.net/>)
- 公益財団法人 環日本海環境協力センター (<https://www.npec.or.jp/>)
- 日本財団「海と日本PROJECT」 (<https://uminohi.jp/>)
- 環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海洋プラスチック汚染対策室サイト
「Plastics Smart」 (<https://plastics-smart.env.go.jp/>)

上記のほか、参考例として、漂着ごみによる影響、漂着ごみに関する知見、漂着ごみを減らすための行動などについて解説したパンフレットをご紹介します（図1.1 環境省作成）。インターネットを利用して、閲覧してみてください。



図1.1 環境省Plastics Smartサイトより転載「【ハンドブック】ごみ拾いから始める海洋プラスチックごみ問題の解決：一般の方、地方自治体向け」の1ページ目
(<https://plastics-smart.env.go.jp/education?education=107>)

2. 長崎県の海岸の特徴と漂着ごみの概要

2.1 長崎県の海岸の特徴

本県の海岸は、北松浦半島・東松浦半島、島原半島、西彼杵半島のほか、五島、壱岐、対馬を始めとする島々からなり、変化に富んだ長く複雑な形状の海岸が多くを占めています。それらの海岸は美しい景観を形成していることなどから、西海国立公園、壱岐対馬国定公園、玄海国定公園、野母半島県立公園、北松県立公園などの国立・国定・県立公園に指定されるなど、その豊かで風光明媚な情景は本県の重要な観光資源となっています（図1.2）。

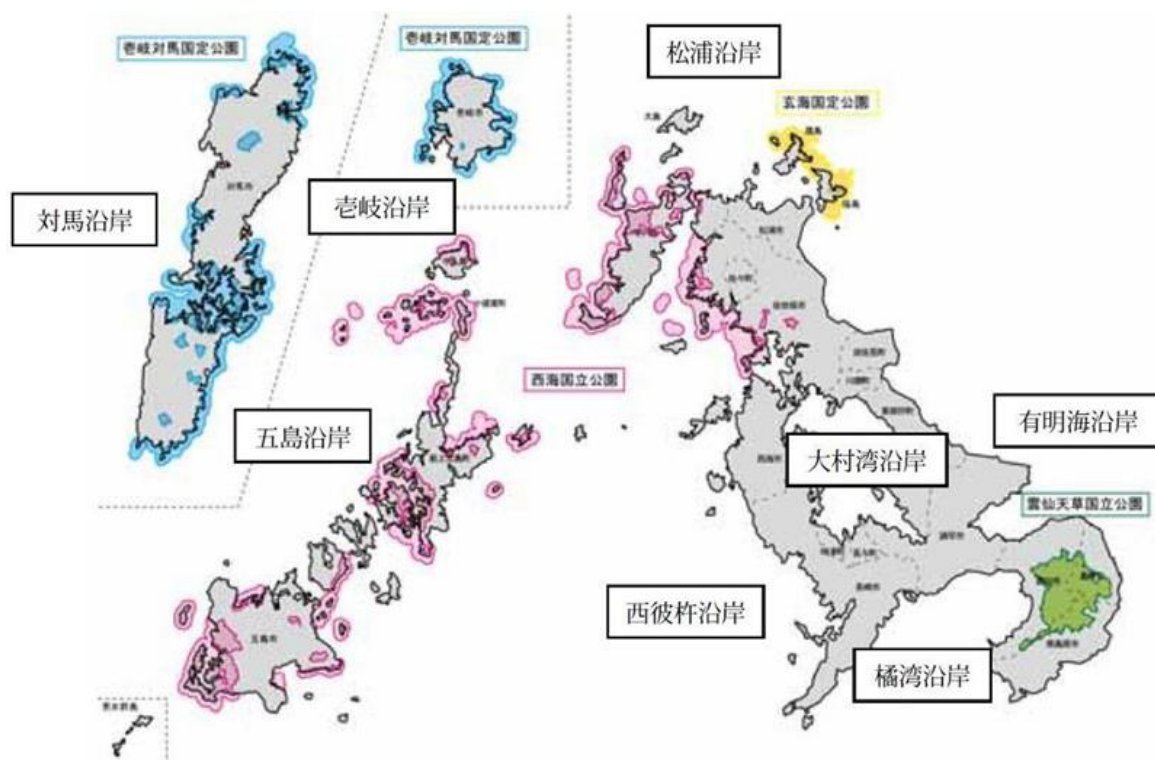


図1.2 長崎県の沿岸の状況（長崎県海岸漂着物対策推進計画）

また、これらの海岸は、ペーロン大会・トライアスロンなどのイベント、ダイビング・ジェットスキーなどのマリンスポーツ、ブルーツーリズムなどの体験活動・学習活動などに幅広く利用され、人々の集い・憩いの場となっています。また、各所に見られる入江には、多くの離島航路の港や漁港が整備され、県民の生活にとって重要不可欠なものとなっています。

しかし、黒潮から分派する対馬暖流に洗われるほか、季節風などの影響によって、県内の海岸には漂着ごみが繰り返し押し寄せています（図1.3）。

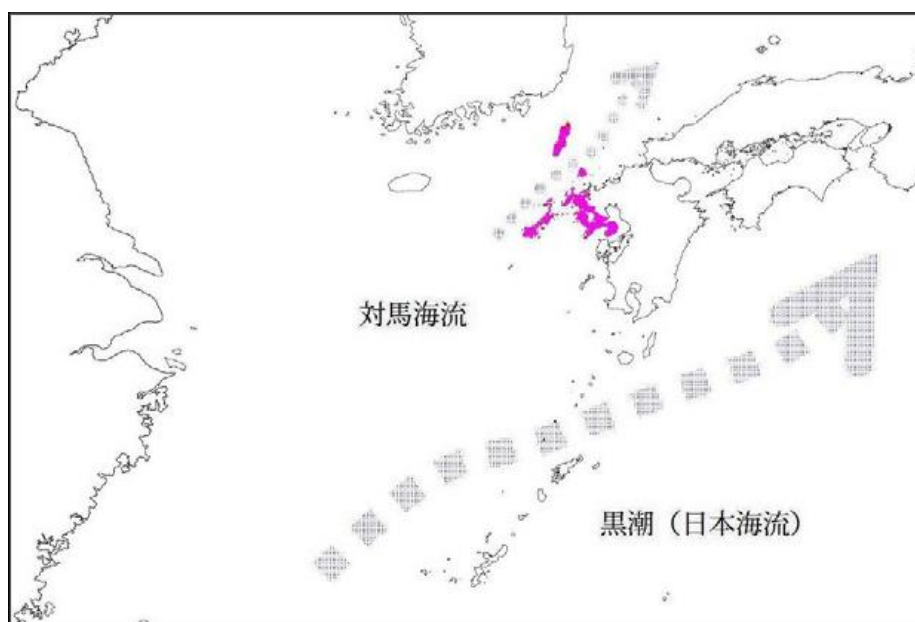


図1.3 長崎県の位置・海流の状況（長崎県海岸漂着物対策推進計画）

2.2 長崎県の漂着ごみの概要

「長崎県海岸漂着物対策推進計画」によれば、県内の漂着ごみの量は約80,000 m³（約9,000トン）と推計されています（平成22年1月～3月調査）。これらの漂着ごみの約4割は灌木や流木などの自然物で、残りの約6割がプラスチック類・発泡スチロール・材木などの人工物となっています（図1.4）。環境省の調査によれば、県内の漂着量は、平成26年度は1.7万トンから3.2万トン、平成27年度は0.6万トンから12万トンと推計されています。また対馬市のモニタリング調査（令和5年度）によれば、発生国が判断しやすいペットボトルの内韓国製と中国製がそれぞれ約3割、日本製が約1割と3か国で約7割を占めていました。

このことは、国外ばかりではなく、国内あるいは県内から発生しているごみが県内の海岸に漂着していることを示しています。特に県内本土から発生したごみも多く含まれているものと考えられており、保管やごみの出し方が適切でないために、ごみ集積場所から流出したものや、市街地や道路・河川などでポイ捨てされたごみが風雨などによって海に流れ着いたもの、あるいは海岸でレジャーの際に放置されたごみに起因するものが含まれています。

そのため、自分たちの海・海岸を自分たちで守るには、ごみは持ち帰る、適切に保管するなどの対応が必要です。



図1.4 主な漂着ごみの例

第2章

～海岸清掃活動に参加するには～

(県民活動編)



～海岸清掃活動に参加するには～（県民活動編）では、海岸清掃活動への参加を検討している方を対象として、どのように参加すれば良いのか、などについて解説します。

目次

1.	参加の検討	11
1.1	海岸清掃活動団体などの把握.....	11
1.2	海岸清掃活動内容の把握.....	13
1.3	参加を申し込む.....	15
2.	参加の準備	16
2.1	服装と持ち物.....	16
2.2	移動手段の検討.....	19
3.	海岸清掃活動への参加	19
3.1	漂着ごみの分別.....	19
3.2	作業中の留意点.....	20
3.3	安全に楽しく漂着ごみを拾うには.....	22
4.	海岸清掃活動の結果を確認	25

1. 参加の検討

1.1 海岸清掃活動団体などの把握

長崎県内には海岸清掃活動を活発に実施しているボランティア団体や NPO などの民間団体が多数あります。また、国や県、市町などの行政機関も、地域住民に参加・協力してもらう形で、様々な海岸保全事業を進めています。それらの活動情報を地域の新聞記事や、テレビ、ラジオなどのメディア、行政機関の広報などから情報収集すると良いでしょう。また、インターネット上で関連情報が公開されている場合もあるので、「海岸清掃活動」や「ビーチクリーン」などをキーワードとして検索し、海岸清掃活動に関係するホームページ（HP）やソーシャルネットワークサービス（SNS）などを調べても良いでしょう。

まずは、上記の情報源などを利用して、身近な場所で、どのような活動が行われているか調べてみましょう。海岸清掃活動に関わる情報提供を行う行政および海岸清掃活動への参加募集をしている主な民間団体などのHPの一例を表2.1に整理しました。これら以外にも情報があると考えられますので、調べてみてください。

表2.1 海岸清掃活動への参加募集をしている主な民間団体などのHP

地域	団体名	対象（活動） 海岸等	活動回数	団体情報、連絡先（HPアドレス、 メールアドレス）等
長崎 西彼 地区	長崎Coastal Debris Guard	京泊～神浦海岸	月に1回（第三日曜日）	https://www.facebook.com/JE6NPG/ https://www.instagram.com/nietzsche_kumagawa/
	ながさき海援隊	長崎市内の海岸を中心に県下全域	12回/年 程度	長崎大学のボランティアサークル https://www.facebook.com/people/%E3%81%AA%E3%81%8C%E3%81%95%E3%81%8D%E6%B5%B7%E6%8F%B4%E9%A%8A/100067690807720/
	コミュニティ時津	時津港海岸	年に数回	http://togitu.blog65.fc2.com/
	NPO法人 長崎ビーチサービス	西海市雪ノ浦海岸	4～9月第2日曜	https://yukinourabeachstore.wixsite.com/beachstore/workshop
	松本清掃舎 海部	時津港海岸等	2～3か月に1回	https://www.facebook.com/matsumotoseisousha/
県央 大村 湾地区	諫早清掃愛護クラブ	諫早市貝津町、津水町、久山町、大村市溝陸町の区域	ほぼ毎月一回	HPアドレス： http://isahayacleanupclub.bl388.jp/ メールアドレス：h3l5mrs@icv-net.ne.jp
	大村湾をきれいにする会 大村支部	大村市地先沿岸	市民会場 年2回 その他 23回 ※令和5年度実績	大村湾における水質及び環境保全を図り、大村湾をきれいにすることを目的に活動。 kankyou@city.omura.nagasaki.jp
	Kujaku Peace	川棚町内海岸	毎月1回程度（不定期）	Kujaku Peace(instagramにて検索可)
県北 地区	伊万里湾環境保全対策協議会	伊万里湾の海岸	年1回	simin@city.matsuura.lg.jp
	松浦マーケット	松浦市内の海岸	年8回程度	fuse.fukushima@gmail.com
	NPO法人 ひらど海てらす	平戸市内の海岸	クリーンアップの呼びかけ月1回	https://hiradoumiterasu.wixsite.com/umiterasu
	宇久島離島活性化協議会	宇久島内	年1回	Tel.0959-57-3113 メールアドレス： u.sangyo@city.sasebo.lg.jp 佐世保市宇久行政センター産業建設課内
対馬 地区	（一社）対馬CAPPA	対馬市内	年約50回以上	info@cappa.or.jp https://www.tsushima-cappa.com/
壱岐 地区	壱岐島おこし応援隊「チーム防人」	鬼の足跡、辰の島など	年に数回	takenotuji@coda.ocn.ne.jp
	半城湾会	半城湾一帯	年1回	h-yanamaka.39@hm.iki-vision.jp
五島 地区	五島自然塾	五島市全域	10回/年 程度	https://www.facebook.com/p/%E4%BA%94%E5%B3%B6%E8%87%AA%E7%84%B6%E5%A1%BE-100070482181673/
	NPO法人アクロス五島	五島市全域	4回/年	https://goto-acros.net/

1.2 海岸清掃活動内容の把握

参加できそうな海岸清掃活動を見つけたら、募集案内（例：図2.1）を見て、開催日時や場所、活動内容、持ち物などを確認し、準備しましょう。

【確認すること】

- 開催日時
- 集合場所、活動場所と地図
- 活動内容、申込方法、現地までの移動方法
- 持ち物（服装など）ほか、注意事項

長崎県の海を守ろう！
海の生き物を守ろう！
漂流・漂着ごみを考えよう！

Save the Ocean
of Shinkamigoto

海ごみSOSツアー 2023



※島内参加者は無料ですが、交流会に
参加する場合は会費1,000円が必要です

参加費
3,000円

(小雨決行)

11月18(土)～19日(日)

開会式: 有川総合文化センター

参加者募集！ 一般社会人・大学生 40名
(島外25名・島内15名)

【清掃場所】

18日 祝言島

19日 三本松海水浴場



申込方法: 以下の必要事項を記入し、URL、QRコード、mail、FAXからお申込み下さい。

申し込みURL <https://forms.gle/ZvrlaP2nLowaogkq7>

① 名前(ふりがな) ② 所属(団体・会社名 大学名など) ③ 生年月日 ④ 性別
⑤ 連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)

※いただいた個人情報は、傷害保険の加入及び当協会からの連絡に使用し、
情報は適正に管理します。

※参加費にふくまれるもの 往復乗船運賃、宿泊費、食事(4食)、傷害保険、軍手

※島内参加者 無料 傷害保険、軍手は主催者が負担

QRコード



主 催: 長崎県新上五島町

実施団体: NPO法人環境カウンセリング協会長崎

申 込 先: NPO法人環境カウンセリング協会長崎(ECAN)



〒850-0036 長崎市五島町3-3プレジデント長崎206

E-mail: boshu-SOS2023@npo-ecan.org

TEL: (095)818-3305 / FAX: (095)826-3693

募集締切り
11月2日(木)

図2.1 海岸清掃活動の参加者募集案内の例 (提供: 新上五島町)

【清掃活動の一般的な流れ】

海岸清掃範囲や参加人数の多寡などの開催規模によりますが、海岸清掃活動はおおよそ次のような内容・流れで実施されます。

特に、少人数での開催など、海岸清掃活動の実施規模が小さい場合は、下記のような明確な案内がなく清掃活動が進行することもあるほか、大人数の海岸清掃活動では活動後にイベントがある場合もあります。いずれの場合でも、事前に海岸漂着ごみに関する知識を得た上で海岸清掃活動に参加すると、楽しく、安全に作業することができます。

一般的な海岸清掃活動の内容・流れ

- (1) 受付
- (2) 開会式
- (3) 作業内容の説明
- (4) 回収作業の開始
- (5) 休憩
- (6) 回収作業の継続、搬出作業の開始
- (7) 回収、搬出作業の終了
- (8) 閉会式
- (9) 回収作業の結果報告、振り返り

1.3 参加を申し込む

事前の参加申込みが必要な場合には、必ず申込み手続きを行いましょう。

参加申込み時に主催者に伝える項目の例を表2.2に示します。その際に、主催者の連絡先や、参加に当たって確認しておきたいことがあれば聞いておきましょう。近年はGoogle フォームなどを利用したオンラインによる参加申し込みも増えてきています。参考までに、オンライン（Google フォーム）を利用した参加申込みの例を図2.2に示しました。

なお、事前の参加申込みが不要な当日現地集合、自由参加形式の海岸清掃活動もありますので、情報を集めましょう。

表2.2 海岸清掃活動の参加申し込み時に伝える項目の例

項 目	備 考
参加者情報 名前、性別、生年月日、住所、電話番号、 緊急連絡先 (携帯番号・携帯メールアドレスなど)	・参加者全員分の情報を伝える（主催者によって求められる情報は異なる） ・緊急連絡先は、主催者が当日に中止・順延などの緊急連絡をするために必要な場合がある
参加者が確認したいこと（例として）	・移動方法：自家用車利用の可能性（駐車場の有無）、送迎バスなどの利用可能性 ・主催者の連絡先（参加者が緊急連絡をするため）

図2.2 オンライン（Google フォーム）を利用した海岸清掃活動の申込みの例

2. 参加の準備

2.1 服装と持ち物

季節や当日の天気、活動内容に適した服装を心がけましょう。図2.3や図2.4のような長袖、長ズボン、運動靴（長靴）、帽子、タオル、手袋（軍手）という服装が動きやすく、状況に応じて調整が可能なので、海岸清掃活動に適しています。暑い時期でも、半袖や半ズボンなどの服装は肌を露出させていることからケガをしやすくなるため、避けましょう。特に、ケガや転倒防止のため、足の肌が露出するサンダル類の着用はやめましょう。

また、活動中は汗をかくので、適度な水分補給が必要です。主催者から飲み物提供の案内がない場合は、各自で準備して参加しましょう（水筒を持参するのも良いでしょう）。

海岸清掃活動のための持ち物の例を表2.3に示します。これを参考に準備してください。ただし、各自の持ち物は、現地での活動に最低限必要なものにしましょう。



図2.3 海岸清掃活動に適した服装の例と持ち物



図2.4 海岸清掃活動時の服装の例

表2.3 海岸清掃活動のための持ち物の例

品 目		備 考
各自で準備したいもの	長袖・長ズボン	・ケガを避けるため、長袖・長ズボンが良い ・作業時は汗をかくので、乾きやすい素材のものが良い
	雨具（カッパ）	・カッパは風雨を通さないため、雨天時や寒い時期の清掃活動には適する ・傘の利用は片手が使えなくなるほか、傘が風にあおられて危険なため、カッパの着用が推奨される。
	靴	・運動靴や登山靴が適している ・滑りにくい靴底のものが良い（下記のように長靴でも可） ・サンダル類は滑りやすく、ケガのリスクが高いため不可
	帽子	・熱中症対策のために必ず着用する ・海岸は風が強いので、飛ばされないように注意する
	タオル	・作業時に汗を拭くために必要である
	飲み物	・主催者から提供の案内がない場合には各自十分に準備する ・マイ水筒の使用を推奨したい
	かばん	・貴重品などは個人で管理して身体から離さない ・作業時に両手が自由に使えるリュックなどが適している ・軽量のものが適している
	保険証	・ケガなどの緊急時に必要となる場合がある
	手袋（軍手）	・主催者が配布する場合もあるが、各自が持参して、可能な限り再利用すると良い
	ごみ袋	
あると便利なもの	スマートフォン 携帯電話	・緊急連絡時に便利、活動場所によって使用できないことに注意する ・活動中の写真を撮影することもできる
	飴・塩分タブレット	・熱中症対策や活動時に疲れたときにリフレッシュできる ・個別包装のごみは、不注意で落とすことがないよう、注意して持ち帰る
	サングラス	・活動の妨げにならないものを使用する
	日焼けどめ	・必要に応じて各自で紫外線対策を行う
	トング （ごみばさみ）	・基本的には手袋を着用した手でごみを拾うが、必要に応じて主催者が貸出す場合がある
	長靴 マリンブーツ	・水辺付近の活動時に適している ・主催者から案内がある時は各自準備する

2.2 移動手段の検討

集合方法を主催者に確認しましょう。

当日は各自で集合場所に現地集合する場合がほとんどです。なるべく公共交通機関を利用して移動するようにしましょう。

自家用車を利用する場合は、集合場所付近の駐車スペースに限りがあるので、参加申し込み時に主催者に駐車場について確認しましょう。また、仲間と乗り合わせるなどの方法も考えましょう。

また、主催者が送迎バスを準備してくれる場合もあるので、募集要項で確認し、利用する場合は参加申し込み時に予約しましょう。

3. 海岸清掃活動への参加

3.1 漂着ごみの分別

漂着ごみの分別方法は、家庭ごみと異なる場合があります。地域のクリーンセンターで処理できるごみと、処理できないごみという具合に、最終的にごみをどう処分するかの見点から分別することになります。

この分別については、クリーンセンターの処理能力などによって地域ごとに異なる場合があります。主催者の説明を聞いて、漂着ごみの分別方法を確認しましょう。

表2.4は漂着ごみの分類・分別の例ですが、地域によって異なる場合がありますので、注意しましょう。また、有害なごみ（例：蛍光灯の管。水銀が含まれているため）や、危険なごみ（例：中身の判らないものが入っている容器など）もありますので、注意が必要です。

表2.4 漂着ごみの分別区分の例

分別区分	内 訳
廃プラスチック類	カップ麺などの容器、シャンプーなどのボトル、ビニール袋やヒモ、ペットボトル・ふた、アナゴ漁業用漁具、プラスチック製ブイ、（空の）ポリタンク・ライターなど
発泡スチロール類	発泡スチロール製ブイ、トロ箱（魚を入れる箱）など
漁網・ロープ類	漁網、ロープなど
流木・材木類	流木、 ^{かんぼう} 灌木、材木、木片など
その他の可燃物	紙くず、衣類などの繊維製品など
不燃ごみ	【金属類】（空の）スプレー缶・カセット式ガスボンベなど 【ガラス類】空きびん、陶磁器、びん以外のガラス、蛍光管・電球（割れたもの）など
危険物、有害ごみ	蛍光管（割れていないもの）、バッテリー、中身の判らないものが入っている容器、注射器など
その他処理困難物	家電製品、タイヤなど

3.2 作業中の留意点

主催者側が【危険なごみ（表2.5）、危険な動植物（図2.5）、危険な場所（図2.6）】等の資料を準備していない場合もありますので、事前に確認しておきましょう。

【危険なごみ】

表2.5 危険な漂着ごみの例

危険なごみ		対応（理由）	
割れ物（ガラス・陶器など）		参加者が注意して集める	・素手でさわらない （ケガの危険性あり）
割れ物 （蛍光灯・電球）			・素手でさわらない ・割らないで集める ・他のごみと混ぜない （破裂の危険性あり）
スプレー缶			・他のごみと混ぜない （破裂や引火の危険性あり）
ガスが残っているライター			・他のごみと混ぜない （引火の危険性あり）
廃油ボール			・素手でさわらず、割り箸などを使用して集める ・他のごみと混ぜない （引火の危険性あり）
医療系廃棄物 （注射器・針、薬瓶など）		主催者に対応する	【参加者は集めない】
爆発性のもの （信号弾・発炎筒・爆竹・高圧ガスなど）			※発見者は、所在場所を主催者に知らせる（他のごみと混ぜて処理しない）
中身のわからない液体 などが入ったもの （ポリタンク・ドラム缶、ペットボトルなど）			※動物の死体は原則として回収しない
動物の死体（有毒・感染の恐れがあるもの）			

【危険な動植物】



カツオノエボシ
(有毒。クラゲの一種)



ムカデの仲間
(有毒。海岸にも生息)



アシナガバチの仲間
(有毒。海岸付近でも営巣)



ニホンマムシ
(有毒。特徴は頭が三角形)



テリハノイバラ
(トゲが危険)



ノアザミ
(葉のトゲが危険)

図2.5 危険な動植物の例

【危険な場所】



図2.6 海岸での危険な場所の例

3.3 安全に楽しく漂着ごみを拾うには

海岸清掃活動を行う場合は、「楽しく、安全に」が大切です。そのためには、主催者が指示する安全な方法でごみを回収しましょう。

まずは怪我しないこと。そのためには、キチンとした服装で参加しましょう。

海岸清掃活動は、漂着ごみを拾うだけではなく、ごみを分類群ごとに分別して集め、指定された仮置き場まで運び、風で飛ばされないようにするまでが一連の作業となります。

海岸清掃活動の会場では、開会式の前後に配布されるゴミ袋を持って海岸に行き、主催者が指示する分別・回収方法で漂着ごみを拾いましょう。大きなゴミばかりではなく、細かいゴミも注意して拾いましょう。また、集めたゴミは、他の参加者と協力して、指定された場所まで運び、主催者の指示する方法で仮置きしましょう。

【安全に】

● 清掃手順を確認する

回収：どのように回収するか、主催者に確認してください。

搬出：回収したごみを仮置き場まで運ぶ方法についても主催者に確認してください。

下記のうち、集めたごみを参加者全員のバケツリレー方式で搬出すると参加者の一体感も味わえ、かなり盛り上がります。

- 休憩をとる

活動中は無理をしないで、休憩をしっかり取り、自分で体調管理をしましょう。特に、暑い季節、湿度が高い時は、熱中症にかかりやすい時期となります。水分と休憩を適切にとり、万が一頭痛がするなどの熱中症の症状が出始めたら、無理をせず、作業を中止し、涼しい場所で休憩するなどの対処をしてください。遠慮せずに、自分の体調と相談しながら、休憩を取りましょう。

また、体調が悪そうな人を見かけたら、積極的に声を掛け、周囲の人や主催者と協力して救護に当たしましょう。

- 緊急時に備える

人身災害・事件・事故・自然災害が発生した際には、直ちに主催者に知らせます。まずは自らの安全を確保し、余裕があれば、主催者の指示に従い救護などを手伝いましょう。

- 貴重な動植物や自然環境に配慮する

海岸は様々な動植物の生息地でもあります。海岸清掃活動時の侵入や踏みつけによって、動植物の生息地・生育地を破壊したり、景観を損ねたりしないように配慮しましょう。特に、海岸近くの湿地には、表2.6に示すような絶滅危惧の植物種が生育していることが考えられますので、注意が必要です。

また、海岸には、漂着している植物や海藻などの自然物を餌や住処としている動物がいます。基本的に、自然物は拾わないようにしましょう。

表2.6 貴重な植物の例

長崎県レッドリストのカテゴリー	植物の例
絶滅危惧Ⅱ類 絶滅の危険が増大している種	 チャボイ

準絶滅危惧

現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種



ジバナ



ハマサジ



ウラギク

注) ハマサジは、県のレッドリストには記載されていないが、国のレッドリストに記載されている。

長崎県レッドリスト2022：

<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2022/04/1648813265.pdf>

写真引用： 三河の植物観察 <https://mikawanoyasou.org/data/tyaboi.htm>

対馬植物図鑑： <http://plant.kacchell-tsushima.net/>

【楽しく】

- ピカピカの海岸に
多くのごみが散乱していた海岸が、皆の力できれいになる様子は嬉しく、楽しいことです。清掃する前の海岸と、キレイになった海岸を比べて見てください。
- お宝さがし
漂着ごみの中で、気になったごみがあれば、主催者にどんなことに使われている品物なのか、生産国はどこなのか、どのように流れてくるのかなどを聞き、興味を持って作業しましょう。また、ビーチグラス²、椰子の実、珍しい貝殻やガラス玉などのお宝探しも楽しいものです。これらを用いたごみアートの作成なども、楽しい海岸清掃活動につながります。ぜひ、あなたのお宝を探してみてください（図2.6）。

² 海岸で見つかるガラス片のことです。波にもまれたり、岩や砂などこすれてたりして角が取れて丸く、表面がくもりガラスのような特徴があります。工作素材として人気です。



ビーチグラス



椰子の実



貝殻

図2.6 “楽しい” 漂着ごみ

【参考】

海岸に落ちている漂着物を収集することを「ビーチ・コーミング」と言います。「コーム (comb)」は髪の毛をとくのに使う櫛 (くし) のことで、浜辺を手という櫛ですき取るようにして漂着物を拾う様子から、「ビーチ・コーミング」と名付けられたようです。

アート作品のような流木、キレイな貝殻、珊瑚(サンゴ)、丸い石、ウニの殻、海外から流れ着いた空き瓶のほか、上記のビーチグラスなどが、その対象となります。

拾った漂着物は、標本にしたり、加工したりして、楽しめます。

4. 海岸清掃活動の結果を確認

主催者から“海岸清掃活動終了”の合図があった場合は、忘れ物がないよう、身の回りのものを片づけて閉会式に参加し、当日の成果や主催者のコメントを確認しましょう。

また、漂着ごみを回収する前の海岸の状態と、回収した後の海岸を頭の中で比較し、きれいになった海岸を見て、達成感を味わいましょう。

これについては、後日、主催者のホームページなどで活動報告が掲載されるかどうかも確認しておくとい良いでしょう。また、回収前と回収後の写真を撮っておくと、後で比較ができ

ます。

さらに、主催者側のホームページなどで、どれくらいのごみを、どれくらいの人数で集めたのかを写真やインターネット情報を見て確認することにより、参加した清掃活動の理解が深まります。

活動経験を活かして、以降も積極的に海岸清掃活動に参加しましょう。

また、家族や友人、勤務先の同僚などを誘って、次の海岸清掃活動に参加しましょう。皆で海岸をキレイにすれば、もっと楽しくなりますよ。

今の時代の子どもたちのために、また将来世代のために、皆の力を合わせましょう。

第 3 章

～海岸清掃活動を主催するには～

（県民活動編）



～海岸清掃活動を主催するには～（県民活動編）では、海岸清掃活動を企画し主催したい方を対象として、どのように企画・実施すればよいのか、などについて解説します。

目次

1.	海岸清掃活動の企画	29
1.1	実施時期の検討.....	29
1.2	実施場所の決定.....	29
2.	海岸清掃活動の準備	34
2.1	運営体制の整備.....	34
2.2	保険加入、緊急連絡先.....	34
2.3	主催者で準備するもの.....	34
2.4	参加者への連絡.....	35
3.	清掃活動参加者の募集	35
3.1	参加者の募集.....	35
4.	清掃活動当日の対応	38
5.	清掃活動後の整理	39

1. 海岸清掃活動の企画

1.1 実施時期の検討

海岸清掃活動は、台風の時期や冬の季節風が強い11月から2月はできるだけ避けるようにしましょう。

また、活動する時間帯は潮の満ち引きを考慮しましょう。

1.2 実施場所の決定

【実施場所の下見】

まずは、海岸清掃を実施しようとする場所の下見をしましょう（図3.1）。

海岸は、砂浜や小石の海岸を基本として、岩場の海岸や消波ブロック（テトラポッド等）の海岸は危険なので避けるようにしましょう。

下見にあたっては次の点を確認しましょう。

- ① ごみの大まかな量と種類、漂着範囲、海岸清掃の範囲
- ② 交通の利便性（公共交通は利用できるか、駐車場の有無）
- ③ 休憩場所の有無（特に夏に実施する場合は、日影が必要）
- ④ 利用できるトイレの場所（利用の可否の確認）
- ⑤ ごみの集積場所
- ⑥ 海岸清掃の後、振り返り等を行う場合は、その場所



図3.1 清掃場所の下見

【関係市町との調整】

実施場所をある程度選定したら、関係する市町の担当課の方と打ち合わせを行いましょう（表3.1）。

表3.1 市町連絡先

	担当課	電話番号 メールアドレス	備考
長崎市	資源循環課	095-829-1159 shigenjunkan@city.nagasaki.lg.jp	
佐世保市	水産課	0956-24-1111 suisank@city.sasebo.lg.jp	
佐世保市	廃棄物減量推進課	0956-32-2428 recycl@city.sasebo.lg.jp	
佐世保市	宇久環境センター	0959-57-3125 recycl@city.sasebo.lg.jp	
島原市	耕地水産課	0957-68-1111 kousui@city.shimabara.lg.jp	

島原市	環境課	0957-68-1111 kankyo@city.shimabara.lg.jp	
諫早市	環境政策課	0957-22-4164 kankyou_seisaku@city.isahaya.nagasaki.jp	
大村市	環境保全課	0957-53-4111 kankyou@city.omura.nagasaki.jp	環境美化・斎場 グループ
平戸市	市民課	0950-22-9121 kankyo@city.hirado.lg.jp	
松浦市	市民生活課	0956-72-1111 simin@city.matsuura.lg.jp	
対馬市	(一社) 対馬 CAPPA	070-4281-6588 info@cappa.or.jp	環境政策課 0920-53-6111
壱岐市	環境衛生課	0920-45-1112 iki-kankyou@city.iki.lg.jp	
五島市	生活環境課	0959-72-6116 seikatsu@city.goto.lg.jp	
西海市	環境政策課	0959-37-0065 kankyo@city.saikai.lg.jp	
雲仙市	環境政策課	0957-47-7813	時間外： 0957-38-3111
南島原市	環境課	0957-73-6644 kankyou@city.minamishimabara.lg.jp	
長与町	住民環境課	095-883-1111	
時津町	住民環境課	095-865-6097 juukan@town.togitsu.nagasaki.jp	
東彼杵町	町民課	0957-46-1165 eisei@town.higashisonogi.lg.jp	
川棚町	住民福祉課	0956-82-3131	
波佐見町	住民福祉課	0956-80-6663 kankyou@town.hasami.lg.jp	
小値賀町	建設課	0959-56-3111 kensetuka@town.ojika.lg.jp	
佐々町	保険環境課	0956-62-2101 kankyoueisei@saza.nagasaki.jp	
新上五島町	住民生活課	0959-53-1161 seikatsu@town.shinkamigoto.nagasaki.jp	
長崎県	資源循環推進課	095-895-2373 sl6100@pref.nagasaki.lg.jp	

打ち合わせにあたっては次の点を確認しましょう。

- ① 実施予定日での実施の可否（市町等のイベントで実施不可の場合もある）
- ② 実施予定場所での実施の可否（私有地や自治会の入会地の場合は、承諾が必要な場合もある）
- ③ 収集したごみ回収への協力（収集したごみを回収してもらえるか、その場合、集積場所（図3.2）はどこか）
- ④ ごみ分別の方法と種類、ごみ袋（ボランティア袋の有無）
- ⑤ その他、駐車場、休憩場所、トイレ等の利用の可否など



図3.2 集積場所を確認

【その他の調整】

必要な場合は、以下の点について別途調整を行きましょう。

- ① 実施場所が私有地や自治会の入会地の場合は、所有者への連絡
- ② 海岸清掃後に、施設を借りて振り返りを行う場合は、その施設の利用許可等
- ③ 実施場所で日ごろ海岸清掃活動を実施している団体がある場合は、実施の概要について説明、必要な場合は協力依頼（海岸清掃活動団体については、表3.2を参照）

表3.2 海岸清掃活動への参加募集をしている主な民間団体などのHP（表2.1を再掲）

地域	団体名	対象（活動） 海岸等	活動回数	団体情報、連絡先（HPアドレス、 メールアドレス）等
長崎 西彼 地区	長崎Coastal Debris Guard	京泊～神浦海岸	月に1回（第三日曜日）	https://www.facebook.com/JE6NPG/ https://www.instagram.com/nietzsche_kumagawa/
	ながさき海援隊	長崎市内の海岸を中心に県下全域	12回/年 程度	長崎大学のボランティアサークル https://www.facebook.com/people/%E3%81%AA%E3%81%8C%E3%81%95%E3%81%8D%E6%B5%B7%E6%8F%B4%E9%A%8A/100067690807720/
	コミュニティ時津	時津港海岸	年に数回	http://togitu.blog65.fc2.com/
	NPO法人 長崎ビーチサービス	西海市雪ノ浦海岸	4～9月第2日曜	https://yukinourabeachstore.wixsite.com/beachstore/workshop
	松本清掃舎 海部	時津港海岸等	2～3か月に1回	https://www.facebook.com/matsumotoseisousha/
県央 大村 湾地区	諫早清掃愛護クラブ	諫早市貝津町、津水町、久山町、大村市溝陸町の区域	ほぼ毎月一回	HPアドレス： http://isahayacleanupclub.bl388.jp/ メールアドレス：h3l5mrs@icv-net.ne.jp
	大村湾をきれいにする会 大村支部	大村市地先沿岸	市民会場 年2回 その他 23回 ※令和5年度実績	大村湾における水質及び環境保全を図り、大村湾をきれいにすることを目的に活動。 kankyou@city.omura.nagasaki.jp
	Kujaku Peace	川棚町内海岸	毎月1回程度（不定期）	Kujaku Peace(instagramにて検索可)
県北 地区	伊万里湾環境保全対策協議会	伊万里湾の海岸	年1回	simin@city.matsuura.lg.jp
	松浦マーケット	松浦市内の海岸	年8回程度	fuse.fukushima@gmail.com
	NPO法人 ひらど海てらす	平戸市内の海岸	クリーンアップの呼びかけ月1回	https://hiradoumiterasu.wixsite.com/umiterasu
	宇久島離島活性化協議会	宇久島内	年1回	Tel.0959-57-3113 メールアドレス： u.sangyo@city.sasebo.lg.jp 佐世保市宇久行政センター産業建設課内
対馬 地区	（一社）対馬CAPPA	対馬市内	年約50回以上	info@cappa.or.jp https://www.tsushima-cappa.com/
壱岐 地区	壱岐島おこし応援隊「チーム防人」	鬼の足跡、辰の島など	年に数回	takenotuji@coda.ocn.ne.jp
	半城湾会	半城湾一帯	年1回	h-yanamaka.39@hm.iki-vision.jp
五島 地区	五島自然塾	五島市全域	10回/年 程度	https://www.facebook.com/p/%E4%BA%94%E5%B3%B6%E8%87%AA%E7%84%B6%E5%A1%BE-100070482181673/
	NPO法人アクロス五島	五島市全域	4回/年	https://goto-acros.net/

2. 海岸清掃活動の準備

2.1 運営体制の整備

主催団体内で実施責任者や会計責任者を決めるほか、清掃当日の会場案内係、駐車場係、受付係、写真記録係、救護係、参加者が清掃区域外に出たり危険個所に行ったりするのを防ぐ危険監視係などの他、開会式や閉会式の司会進行役、実施手順やごみの分別方法等の説明係をあらかじめ決めておきましょう。

また、清掃活動終了後に「振り返り」を行う場合は、その司会進行役や助言者、記録係などを必要に応じて決めておきましょう。

2.2 保険加入、緊急連絡先

【保険加入】

海岸清掃時のケガや事故に備えて「ボランティア活動保険」に加入しましょう。「ボランティア活動保険」は最寄りの社会福祉協議会で申し込みができるほか、民間の損保会社でも取り扱っているので、事前に調べ、自分たちの活動にあった保険に加入しましょう。

保険の加入にあたっては「氏名」のほか、「住所」「性別」「生年月日（年齢）」などを求められる場合があるので、事前に何が必要か調べておきましょう。

【緊急連絡先】

清掃当日のケガや病気に備えて「緊急連絡先」を整理しましょう。

最寄りの警察と消防の連絡先や実施日が休日の場合の当番医と薬局（ドラッグストア）の場所と連絡先、最寄りのタクシー会社の連絡先や関係自治体への緊急連絡の方法などについて確認しておきましょう。

2.3 主催者で準備するもの

【全体】

スタッフジャンパー等（当日にスタッフとわかる目印）、救急用具、カメラ（記録用）、モバイルバッテリー（緊急用に）、横断幕（必要に応じて）

【受付】

机、参加者名簿、筆記具、テント（必要に応じて）、配布物がある場合は配布物（お茶、軍手、タオル等）

【開会式、閉会式】

拡声器、ごみの分別を説明するもの

【清掃活動】

ごみ袋（トン袋）、トング・ごみばさみ（必要に応じて）、軍手（配布しない場合は忘れた人用）、鎌・ナイフ（絡まったロープ等を切断するもの）、ごみの収集範囲や立入禁止場所を示すテープ・ロープ・旗（あらかじめ立入禁止場所等を示しておく）、タオル・飴・飲み物等は必要に応じて

【振り返り】

拡声器・マイク、模造紙・付箋紙・筆記具等必要に応じて（図3.3）



図3.3 振り返り

2.4 参加者への連絡

実施当日の1週間前程度に、参加者へ次の事項を再度連絡しましょう。

- ① 海岸清掃実施日時と集合場所
- ② 持ってくるもの
- ③ 注意事項
- ④ 荒天時の取り扱いと連絡方法
- ⑤ 主催団体への連絡先

3. 清掃活動参加者の募集

3.1 参加者の募集

活動への参加者は、①主催団体の会員のみ、②主催団体の会員とその関係者（家族、友人等）、③主催団体以外の一般の方も含むの3通りが考えられます。

主催団体の運営体制、実施場所の広さやごみの量、駐車場の広さ、振り返りを実施する場合は施設の定員などを考慮して募集の範囲と定員を決めましょう。

また、実施場所によっては参加者の年齢制限等（中学生以上、保護者同伴等）も必要になります。

主催団体以外の一般の方を広く募集する場合は、団体のホームページやSNS、チラシ等を利

用して周知します。（参加者募集のチラシの例は、図3.4を参照）
必要事項は、概ね次の項目です。

- ① 開催日時
- ② 清掃場所と集合場所
- ③ 持ってくるもの（服装等）
- ④ 荒天時の取り扱い（雨天中止等）
- ⑤ 主催者
- ⑥ 申し込み方法、申し込み先、締め切り日
- ⑦ 問い合わせ先





伊王島ビーチクリーン 2024

参加費：500円
(昼食・飲物付)

応募締切
8/15(木)
募集20名

応募者多数の場合は抽選



伊王島ふれあい広場
伊王島ふれあいランド
海岸清掃：西の浜周辺

2024.09.29 SUN 10:00～15:30

集合：@伊王島ふれあいランド 駐車場 9:50

ビーチクリーンのイベントを開催することでSDGs活動に携わる団体と連携し、長崎市の海洋プラスチックごみ問題をはじめとした環境問題に関する情報発信を行ない、持続可能な社会づくりに向けた気付きの場となることを目指します

**応募対象：特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎 会員
長崎市地球温暖化防止活動推進員**

音楽フェス開催中♪～



於：伊王島ふれあい広場
9/28～9/29開催「七歌祭(ナナフェス)」

- 集合 9:50
(伊王島ふれあいランド駐車場)
- 説明 10:00～10:15
- 海岸清掃 10:15～11:45
(伊王島ふれあいランド前海岸、西の浜)
- 昼食 (すし処おおはら 海鮮ちらし)
- ワークショップ・コーヒーブレイク 13:30～15:30
(ベス トゥールンコーヒー)




●主催者準備：軍手、トング、ごみ袋、昼食（一部負担）、飲み物、傷害保険



申込2次元コード

主催 特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎

後援 サステナプラザながさき (長崎市地球温暖化防止活動推進センター)

申込 電話095-895-5541 FAX095-895-5521 ioujima2024@npo-ecan.org
<https://forms.gle/WMHXRronjPtPuglZA>

図3.4 参加者募集チラシの例

また、県や関係市町の担当課に相談すると、ホームページやSNSで広報していただける場合があります。

募集にあたっては「氏名」や「連絡先」の他、保険加入に必要な事項も併せてお尋ねします。「メールアドレス」は後日の連絡等に、聞いておくとう便利です。集まった個人情報適切に管理しましょう。

4. 清掃活動当日の対応

清掃当日の対応は以下の流れになります。

(1) 開会前

天気予報の確認をしましょう。特に「雷注意報」が出ている場合には、実施の可否、対策等について十分に検討しましょう。

実施会場が分かりづらい場合は、会場案内係を要所に配置しましょう。駐車場整理が必要な場合は、駐車場係も配置しましょう。

清掃会場内の「危険箇所」や清掃区域の「境界」には、テープやロープ、旗などであらかじめ印をつけておきましょう。

ごみの集積場所もあらかじめ明示しておくといいでしょう。

(2) 受付

参加者の受付を行います。配布物（軍手、お茶、タオル等）がある場合には、併せて配布を行います。また、受付時には参加者の服装をチェックしましょう。活動にふさわしくない服装の場合は、行動範囲を制限する等の対策が必要な場合もあります。（サンダル履きの場合は、行動範囲を砂浜に限るなど）

(3) 開会式

海岸清掃活動を企画した趣旨や目的を参加者にしっかり伝えましょう。

ごみの分別の方法は市町で異なるので、事前に確認した方法を参加者にわかりやすく伝えましょう。

危険なごみ、危険な生物について、注意を行いましょう。特に、危険なごみがあった場合には、触らずにスタッフに連絡するように伝えます。（危険なごみについては表2.5、危険な動生物については図2.5を参照）

休憩時間、清掃終了の時間をはっきり伝えましょう。

(4) 清掃活動

スタッフは参加者にケガ人が出ないように、安全管理に十分注意する必要があります。危険箇所には特に注意を払います。

清掃会場が広い場合は、参加者が一人で遠くに行っていないか、目の届かない所に行っていないか注意が必要です。

網やロープが絡まっている場合は、用意した鎌やナイフを貸し出すか、スタッフ自らが作業を行いましょう。

ごみを集積場所に集め、後日市町などが集めに来る場合には、風でごみが飛散しないようにしっかり対策をしましょう。

主催者が配布した軍手やお茶の空き殻は、漂着ごみとは別に主催者が責任をもって回収するか参加者に持ち帰ってもらいましょう。

(5) 閉会式

参加者に感謝を伝えるとともに、協力団体（市町やNPOなど）がある場合には併せて感謝を伝えましょう。参加者数と大まかなごみの量を伝えることも大切です。

また、大学生には「ボランティア参加証明証」を交付すると、就職活動に役立つこともあるようです。

(6) 振り返り

単にごみを拾うだけではなく、清掃活動を振り返ってみることも大切です。別会場を設けなくても、閉会式の間で隣の人とごみ拾いで感じたことを話し合うだけでもいいですので、ぜひ振り返りを行ってください。

別会場を準備してワークショップ等を行う場合は、テーマをはっきりと決めて、参加者の意見が出やすいように小グループに分けるなどの工夫をして、楽しい話し合いになるように心がけましょう。

5. 清掃活動後の整理

活動終了後、改めて関係市町や協力していただいた団体に感謝を伝えるとともに、最終的な参加者数と回収したごみの量をお知らせしましょう。清掃前後の写真などを添えて、SNS等を活用して広報しましょう（図3.5）。

また、同様な清掃活動を計画している場合には、次回への協力も併せて行うといいでしょう。主催者内では、活動を振り返って、よかったことや悪かったこと、次回への改善策等を整理しておくといいでしょう。

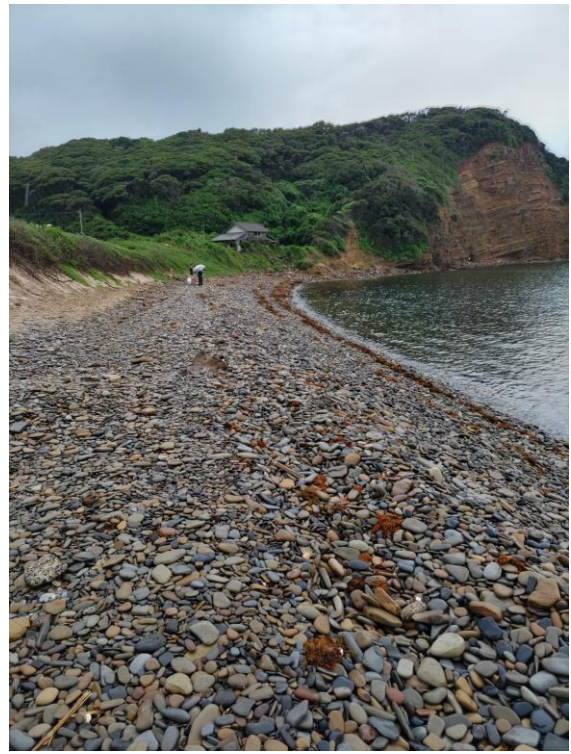


図3.5 清掃活動前後

參考資料

表 2-1 (表3.2再掲) 海岸清掃活動への参加募集を行っている団体などのHP

地域	団体名	対象(活動) 海岸等	活動回数	団体情報、連絡先(HPアドレス、メールアドレス等)
長崎 西彼地区	長崎Coastal Debris Guard	京泊～神浦海岸	月に1回(第三日曜日)	https://www.facebook.com/JE6NPG/ https://www.instagram.com/nietzsche_kumagawa/
	ながさき海援隊	長崎市内の海岸を中心に県下全域	12回/年 程度	長崎大学のボランティアサークル https://www.facebook.com/people/%E3%81%AA%E3%81%8C%E3%81%95%E3%81%8D%E6%B5%B7%E6%8F%B4%E9%9A%8A/100067690807720/
	コミュニティ時津	時津港海岸	年に数回	http://togitu.blog65.fc2.com/
	NPO法人 長崎ビーチサービス	西海市雪ノ浦海岸	4～9月第2日曜	https://yukinourabeachstore.wixsite.com/beachstore/workshop
	松本清掃舎 海部	時津港海岸等	2～3か月に1回	https://www.facebook.com/matsumotosei_sousha/
県央 大村湾地区	諫早清掃愛護クラブ	諫早市貝津町、津水町、久山町、大村市溝陸町の区域	ほぼ毎月一回	HPアドレス： http://isahayacleanupclub.bl388.jp/ メールアドレス：h315mrs@icv-net.ne.jp
	大村湾をきれいにする会 大村支部	大村市地先沿岸	市民会場 年2回 その他 23回 ※令和5年度実績	大村湾における水質及び環境保全を図り、大村湾をきれいにすることを目的に活動。 kankyou@city.omura.nagasaki.jp
	Kujaku Peace	川棚町内海岸	毎月1回程度(不定期)	Kujaku Peace(instagramにて検索可)
県北 地区	伊万里湾環境保全対策協議会	伊万里湾の海岸	年1回	simin@city.matsuura.lg.jp
	松浦マーケット	松浦市内の海岸	年8回程度	fuse.fukushima@gmail.com
	NPO法人 ひらど海てらす	平戸市内の海岸	クリーンアップの呼びかけ月1回	https://hiradoumiterasu.wixsite.com/umiterasu
	宇久島離島活性化協議会	宇久島内	年1回	TEL0959-57-3113 メールアドレス： u.sangyo@city.sasebo.lg.jp 佐世保市宇久行政センター産業建設課内
対馬 地区	(一社)対馬CAPPA	対馬市内	年約50回以上	info@cappa.or.jp https://www.tsushima-cappa.com/
壱岐 地区	壱岐島おこし応援隊「チーム防人」	鬼の足跡、辰の島など	年に数回	takenotuji@coda.ocn.ne.jp
	半城湾会	半城湾一帯	年1回	h-yanamaka.39@hm.iki-vision.jp
五島 地区	五島自然塾	五島市全域	10回/年 程度	https://www.facebook.com/p/%E4%BA%94%E5%B3%B6%E8%87%AA%E7%84%B6%E5%A1%BE-100070482181673/
	NPO法人アクロス五島	五島市全域	4回/年	https://goto-acros.net/

表3. I市町連絡先

	担当課	電話番号	メールアドレス	備考
長崎市	資源循環課	095-829-1159	shigenjunkan@city.nagasaki.lg.jp	
佐世保市	水産課	0956-24-1111	suisank@city.sasebo.lg.jp	
佐世保市	廃棄物減量推進課	0956-32-2428	recycl@city.sasebo.lg.jp	
佐世保市	宇久環境センター	0959-57-3125	u.kankyo@city.sasebo.lg.jp	
島原市	耕地水産課	0957-68-1111	kousui@city.shimabara.lg.jp	
島原市	環境課	0957-63-1111	kankyo@city.shimabara.lg.jp	
諫早市	環境政策課	0957-22-4164	kankyou_seisaku@city.isahaya.nagasaki.jp	
大村市	環境保全課	0957-53-4111	kankyou@city.omura.nagasaki.jp	環境美化・斎場グループ
平戸市	市民課	0950-22-9121	kankyo@city.hirado.lg.jp	
松浦市	市民生活課	0956-72-1111	simin@city.matsuura.lg.jp	
対馬市	(一社) 対馬CAPP	070-4281-6588	info@cappa.or.jp	環境政策課 0920-53-6111
壱岐市	環境衛生課	0920-45-1112	iki-kankyou@city.iki.lg.jp	
五島市	生活環境課	0959-72-6116	seikatsu@city.goto.lg.jp	
西海市	環境政策課	0959-37-0065	kankyo@city.saikai.lg.jp	
雲仙市	環境政策課	0957-47-7813		時間外：0957-38-3111
南島原市	環境課	0957-73-6644	kankyou@city.minamishimabara.lg.jp	
長与町	住民環境課	095-883-1111		
時津町	住民環境課	095-865-6097	juukan@town.togitsu.nagasaki.jp	
東彼杵町	町民課	0957-46-1165	eisei@town.higashisonogi.lg.jp	
川棚町	住民福祉課	0956-82-3131		
波佐見町	住民福祉課	0956-80-6663	kankyou@town.hasami.lg.jp	
小値賀町	建設課	0959-56-3111	kensetuka@town.ojika.lg.jp	
佐々町	保険環境課	0956-62-2101	kankyoueisei@saza.nagasaki.jp	
新上五島町	住民生活課	0959-53-1161	seikatsu@town.shinkamigoto.nagasaki.jp	
長崎県	資源循環推進課	095-895-2373	s16100@pref.nagasaki.lg.jp	

市町による支援措置

市町連絡先		ボランティア清掃に対する支援措置					
	担当課	①ごみ袋の配布		②回収したごみの収集		③その他の支援	
		有無	備考	有無	備考	有無	備考
長崎市	資源循環課	有	市役所又は各地域センターにおいて配布 地域清掃実施計画書の提出が必要	有	ごみ袋に入らないサイズの漂着物や処理困難物など、収集できないごみ有。	無	
佐世保市	水産課	無		無		無	
佐世保市	廃棄物減量推進課	有	ボランティア清掃を行う町内会等に配布	有	海岸清掃によるボランティアごみ収集については、事前に回収依頼書の提出をお願いします。 宇久島での支援措置は「宇久環境センター」にご確認ください。	無	
島原市	耕地水産課	無		無	特別な収集は行いません。可燃物と資源・不燃物に分けて支給された清掃奉仕袋に入れ、現地の町内会に了解をとってから最寄りのごみステーションに出してください。	無	
島原市	環境課	有		無	可燃物と資源・不燃物に分けて支給された清掃奉仕袋にいれ、環境課に連絡のうえ、各施設に自己搬入する。少量の場合は最寄りのごみステーションに出す。（管理する町内会・自治会の了承が必要）	無	
諫早市	環境政策課	有	ボランティア清掃を行う団体に対して配布（個人は対象外） 諫早市環境政策課へ申請書の提出が必要	有	ボランティア清掃を行う団体に対してトラックを配車（個人は対象外） ※トラックへの積み込みは、清掃団体で行ってもらう 諫早市環境政策課へ申請書の提出が必要	無	
大村市	環境保全課	有		無	大村市環境センターに搬入する際に減免となる、「大村湾沿岸一斉清掃ごみ運搬車証」を配布している。	有	海岸漂着物等を回収するために、船を利用した会員に燃料代等を支援している。
平戸市	市民課	有		有	要事前相談。ごみの分別は平戸市の方針に沿って袋に入れること。北松北部クリーンセンターに直接搬入する際は、搬入許可証を発行している。	有	
松浦市	市民生活課	有		有		無	
対馬市	（一社）対馬CAPPA	有	ボランティアごみ袋、フレコンバック	無	対馬CAPPAを通したボランティア清掃の場合、対馬CAPPAが処理施設へ搬入。	無	
壱岐市	環境衛生課	有	清掃ボランティア活動の際にボランティア袋の支給	有	基本的にはリサイクルステーション搬入又は壱岐市クリーンセンターへ自己搬入をお願いしているが、ごみの量等に応じて収集を行っている。	無	
五島市	生活環境課	有		有		有	軍手の配布、火ばさみ等の貸し出し
西海市	環境政策課	有		有	分別してあるごみのみ回収	無	
雲仙市	環境政策課	有		有		無	
南島原市	環境課	有	事前にボランティア活動実施計画書の提出が必要。また、市の道路愛護団体、海岸愛護団体でない団体が対象。	無	ごみは分別し、自ら搬入すること。また、搬入可能なサイズを確認すること。ごみが発生した場所によって搬入先が異なるため注意すること。（有家～加津佐は南有馬衛生センター。布津・深江は東部リレーセンター。）	有	持ち込む場合にかかる廃棄物処理手数料は事前（7日～10日前まで）に減免申請が必要。
長与町	住民環境課	有		有	要事前相談	有	
時津町	住民環境課	有		無		無	

市町による支援措置

市町連絡先		ボランティア清掃に対する支援措置					
	担当課	①ごみ袋の配布		②回収したごみの収集		③その他の支援	
		有無	備考	有無	備考	有無	備考
東彼杵町	町民課	有	地区単位で配布	有		無	
川棚町	住民福祉課	有		有		無	
波佐見町	住民福祉課	有	実施団体の希望があれば配布	有	実施団体の希望があれば収集	無	当町に海岸は存在しないため
小値賀町	建設課	有	町指定ごみ袋（ボランティア用袋）を配布	-	7月の町内一斉海岸清掃では収集の支援を行っている。	無	
佐々町	保険環境課	有		有		無	
新上五島町	住民生活課	有	事前にボランティア活動の申請を行ってもらい、ボランティア袋、フレコンバッグを配布する。	有	ボランティア袋については、可燃・不燃指定日にごみステーションに出す。 ただし、袋（ごみ）の量が多い場合やフレコンバッグ使用の場合は作業員による回収も可能。	無	

【発行】長崎県県民生活環境部資源循環推進課
【改訂版作成】NPO 法人環境カウンセリング協会長崎